

雲出川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～遊水機能を確保し三重の中心地域を守る流域治水対策～

●グリーンインフラの取り組み 『遊水地整備と一体となった多様な生物の生息・移動環境の保全』

- 河口部の干潟は、環境省により「日本の重要湿地500」に指定されるなど環境上重要な区間であり、塩沼植物が生育するとともに渡り鳥の中継地となっているほか、本川および支川にも豊かで多様な動植物が息づく良好な景観が形成されている等、雲出川水系は次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在しています。
- アユ等の生育場・産卵場の保全や支川等の緩流域への移動環境を確保するため、今後概ね20年間で遊水地整備等にあわせた多自然川づくりなどにより、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

●健全なる水循環系の確保

森林整備による水源涵養機能の向上
農業用ため池の活用、田んぼダムの活動に対する支援
雨水貯留・浸透施設による流出抑制

●生態系ネットワークの形成

産物のブランド化や付加価値化の促進

●治水対策における多自然川づくり

整備における生物の多様な生育環境の保全
縦断連続性の確保
支川と本川の連続性の確保

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

人と川とのふれあいの場の確保
(雲出川緑地公園、津市リバーパーク真見)
河川掘削土を活用した高台防災公園整備

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

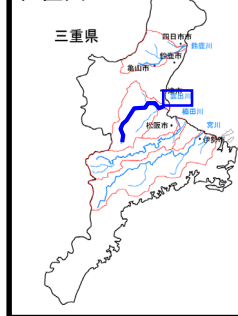
営農機能等を維持した遊水地整備
民間協働による水質調査
小中学校などにおける河川環境学習

【全域に係る取組】

・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

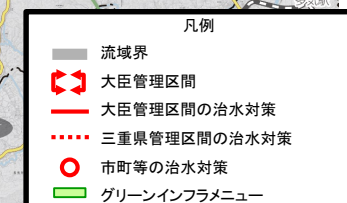
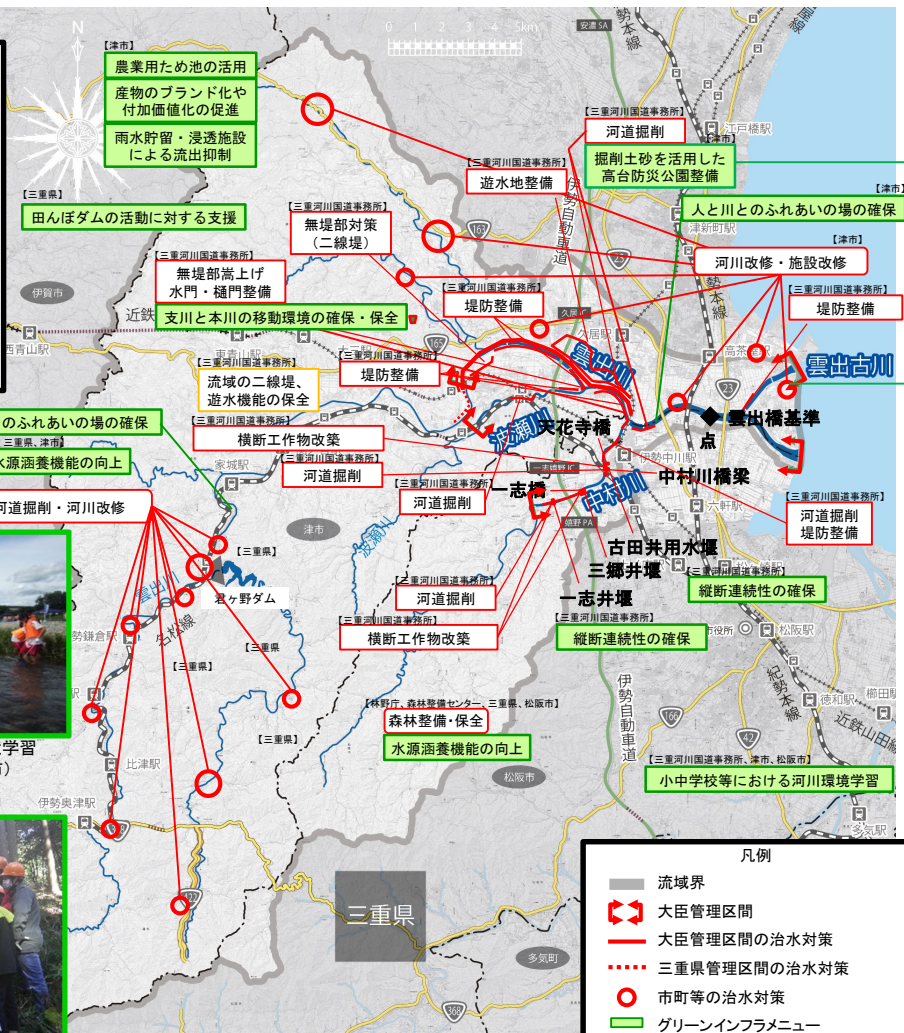
位置図



小中学校などにおける河川環境学習
(三重河川国道事務所・津市)



まると林業体験(津市)



営農機能等を維持した遊水地整備
(三重河川国道事務所)



アユ等の生育場・産卵場となる瀬の保全
(三重河川国道事務所)

※位置図に掲載している、「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策(赤枠)」、「被害対象を減少させるための対策(黄枠)」は、グリーンインフラを兼ねた取組である。

雲出川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～遊水機能を確保し三重の中心地域を守る流域治水対策～

■ 雲出川の上流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市、あらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】津・松阪市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、中下流部で水位低下を目的とした河道掘削、堤防整備等を主に実施。
被害軽減のため、水害リスク情報の空白域解消等を実施。

【中期】津・松阪市街地等で重大災害の発生を未然に防ぐため、中流部左岸遊水地整備、堤防整備を主に実施。
被害軽減のため、防災・住まい方や土地利用に向けた取組の検討やマイタイムライン作成など避難行動の理解促進に向けた取組等を継続的に実施。

【中長期】上流域や支川の浸水被害を防ぐため、横断工作物改築、河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
被害軽減の取り組みをあらゆる関係者と一体となって継続的に実施。

【ロードマップ】

【事業費】

区分	対策内容	実施主体	短期	工程 中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	○洪水氾濫対策 ・河道掘削、堤防整備、堤防強化、横断工作物改築 等 ・遊水地整備	三重河川国道事務所、三重県、津市 三重河川国道事務所	下流部河道掘削・堤防整備＋中流部堤防整備		
	○内水氾濫対策 ・下水道施設の整備、調整池整備、排水ポンプ場の整備	津市、松阪市	上流部及び支川河道掘削・堤防整備		
	○土砂災害対策 ・砂防固施設等の整備	三重県	雲出川遊水地 整備完了		
	○流水の貯留機能の拡大 ・若い貯留ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	三重県			
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・田んぼダムの活動に対する支援 ・森林整備・保全 ・ため池等の活用	林野庁、森林整備センター、 三重県、津市、松阪市	田んぼダムの活動に対する支援		
被害対象を減少 させるための対策	○水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 ・住まい方や土地利用に向けた取組の検討	三重県、津市、松阪市	立地適正化計画における 防災指針の検討		
	○浸水範囲の限定・氾濫水の制御 ・二級堤、遊水機能の保全	三重河川国道事務所			
被害の軽減、 早期復旧・復興のための対策	○土地の水災害リスク情報の充実 ・水害リスク情報の空白域の解消 (洪水・内水・高潮・ため池HM策定・周知)	三重河川国道事務所、気象庁、 三重県、津市、松阪市、地 方関係者	ハザードマップの作成・更新		
	○避難体制等の強化 ・持続的な水災害教育の実施と伝承 ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と 避難の柔軟性確保 ・高齢者の避難行動への理解促進 ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供 ・企業等と連携した避難体制等の確保 ・SNS・広報誌等を活用した継続的な情報発信		洪水予報及び水位通知河川以外の法河川 における浸水想定区域図の作成		
グリーンインフラ	○生物の多様な生態・生育環境の創出による生態系ネットワークの作成 ・産物のブランド化や付加価値化の促進	津市			
	○健全な水循環系の確保 ・森林整備による水源涵養機能の向上 ・農業用ため池の適正な管理と整備 ・田んぼダムの活動に対する支援 ・雨水貯留・浸透施設による流出抑制	林野庁、森林整備センター、 三重県、津市、松阪市	ため池の適正な管理・整備 (津市)		
	○治水対策における多自然川づくり ・整備における生物の多様な生育環境の保全 ・縦断連続性の確保 ・支川と本川の連続性の確保	三重河川国道事務所、 三重県、津市	香良洲高台防災公園整備完了 (津市)		
	○魅力ある水辺空間・賑わいの創出 ・人と川とのふれあいの場の確保 ・河川掘削土を活用した高台防災公園整備	津市	森林整備・保全 (林野庁、森林整備センター、三重県、津市、松阪市)		
	○自然環境が有する多様な機能活用の取組み ・生態機能を維持した遊水地整備 ・民間協働による水質調査 ・小中学校などにおける河川環境学習	三重河川国道事務所、 津市、松阪市			

- 河川対策 ※水系で策定済みの河川整備計画の残事業を記載
全体事業費 約240億円
対策内容 河道掘削、堤防整備、
遊水地整備 等
- 下水対策 ※各市町の下水道事業計画の残事業を記載
全体事業費 約85億円
対策内容 下水道施設の整備、調整池整備、
ポンプ場整備

気候変動を
踏まえた
更なる
対策を推進

※各工程段階の実施内容は今後の事業進捗によって変更となる場合があります。
※各対策の旗揚げは代表的な事例を示しています。

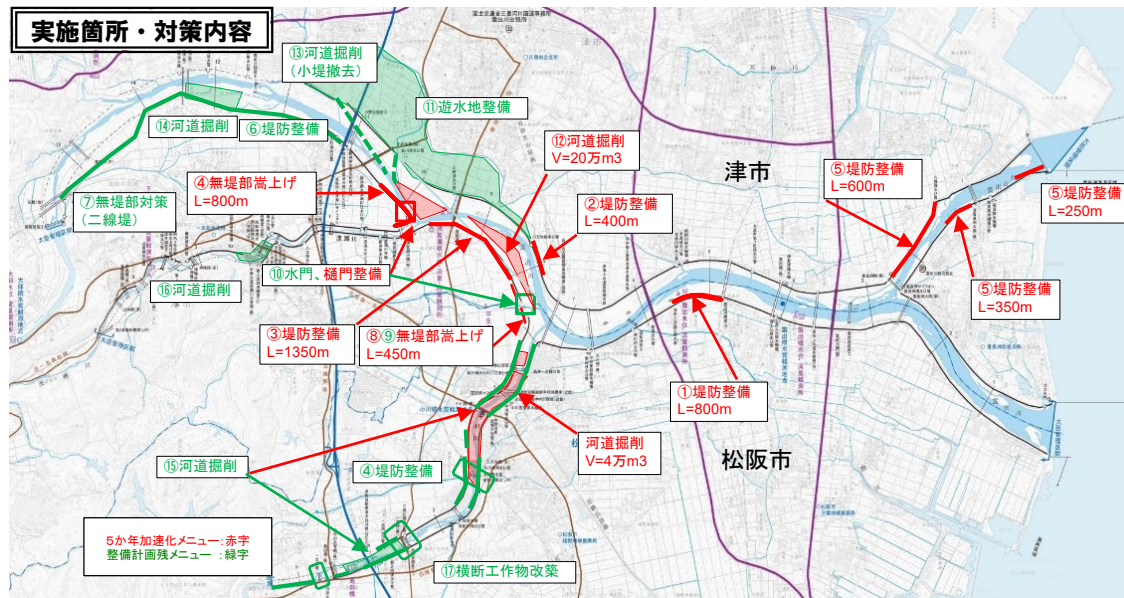
雲出川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～遊水機能を確保し三重の中心地域を守る流域治水対策～

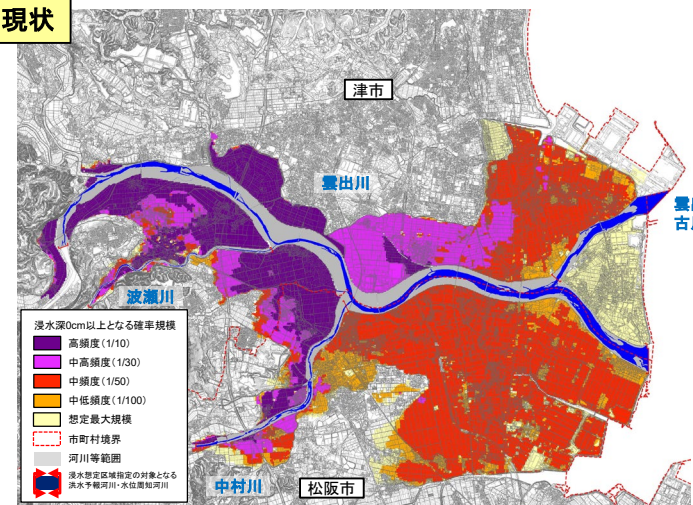
○ 雲出川下流部における河道掘削や堤防整備をR7に完了することで、戦後最大の昭和57年8月洪水と同規模の洪水に対して、中村川合流点より下流部の津・松阪市街地において概ねHWL以下で流下させることが可能。

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約49%→約51%

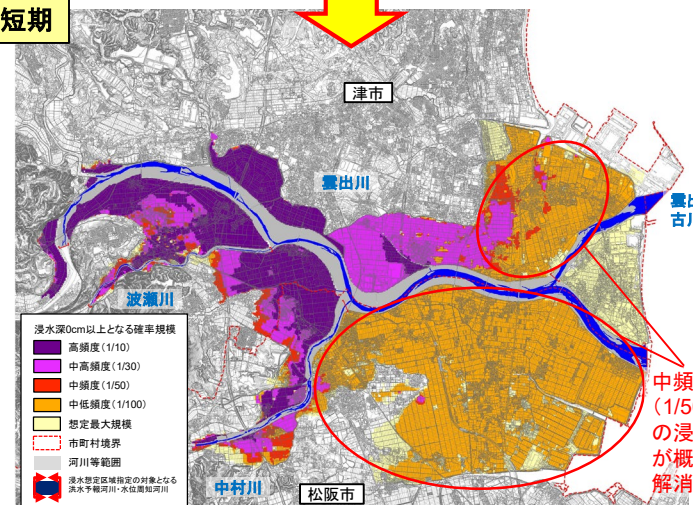
実施箇所・対策内容



現状



短期



【短期整備完了時の進捗】

- ①舞出地区 堤防整備 38%→100%
- ②木造地区 堤防整備 0%→100%
- ⑤高峯・川原地区 堤防整備 0%→100%
- ⑧右岸 無堤部 堤防嵩上 0%→100%
- ⑩右岸 水門・樋門等 0%→30%
- ⑪左岸 遊水地整備 0%→5%
- ⑫須賀瀬地区 河道掘削 0%→100%
- ⑬中村川 河道掘削 0%→100%

- ・ 外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合があります。
- ・ また、この確率以下の洪水においても、浸食等により破壊する可能性があります。
- ・ 短期の図については、国直轄事業の実施による効果です。
- ・ 本資料は、調整中のものであり、今後事業進捗等により変更が生じる可能性があります。

区分	対策内容	区間	工程		
			短期 (R3～R7年度) 1/5～1/5	中期 (R8～R18年度) 1/5～1/5	中長期 (R19～R26年度) 1/5～1/15
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備	①舞出地区	100%		
		②木造地区	100%		
		③須賀瀬地区		100%	
		④中村川			100%
		⑤高峯・川原地区		100%	
		⑥庄村・庄田地区			100%
		⑦無堤部対策 (二線堤)			100%
中流部整備 (右岸：堤防嵩上 (左岸：遊水地)	中流部整備	⑧右岸 無堤部 堤防嵩上 (1)	100%		
		⑨右岸 無堤部 堤防嵩上 (2)		100%	
		⑩右岸 水門・樋門等	30%	100%	
		⑪左岸 遊水地	5%	100%	
		⑫須賀瀬地区	100%		
		⑬小戸木地区 (小堤撤去)		100%	
		⑭上流部			100%
河道掘削	河道掘削	⑮中村川	30%		100%
		⑯波瀬川			100%
		⑰横断工作物改築			100%

雲出川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～遊水機能を確保し三重の中心地域を守る流域治水対策～

戦後最大洪水に対応した
河川の整備



51%

(概ね5か年後)

農地・農業用施設の活用



1市町

(令和3年度末時点)

流出抑制対策の実施



0施設

(令和2年度実施分)

山地の保水機能向上
および土砂・流木災害対策



治山対策等の実施箇所
1箇所

(令和3年度実施分)

砂防関係施設の整備数

0施設

(令和3年度完成分)

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

(令和3年12月末時点)

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定区域
4河川

(令和3年12月末時点)

内水浸水想定区域

0団体

(令和3年11月末時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保 洪水 511施設
計画 土砂 43施設

(令和3年9月末時点)

個別避難計画

0市町村

(令和4年1月1日時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河道掘削および高台防災公園の整備連携

【三重河川国道事務所・津市】

施工後



雲出川



香良洲高台防災公園(イメージ)

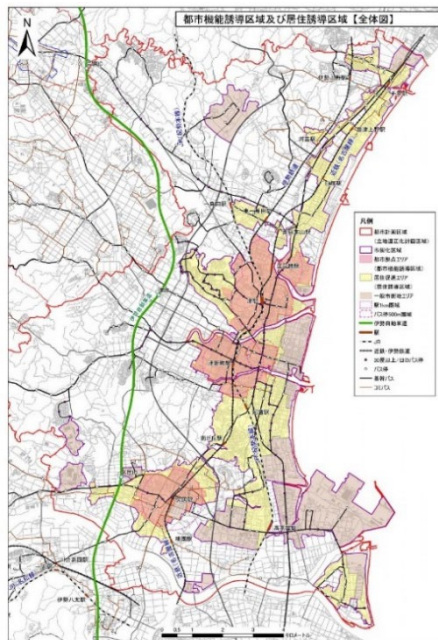
基盤整備に掘削土を活用

- ・河川整備計画目標流量を安全に流下させるために、河道掘削や樹木伐採を行い水位低下を図る。
- ・R3年度には、約4.8万m3の掘削工事を実施し、R7年度までに当該地区において約20万m3の掘削を実施予定。
- ・河道掘削土砂を高台防災公園の基盤整備に流用。

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成検討

【津市】



- ・近年の自然災害の頻発・激甚化を踏まえ、災害リスクを踏まえた防災まちづくりを進めることが重要である。
- ・都市再生特別措置法等の一部を改正する法律(R2.9.7施行)に伴い、新たに立地適正化計画の居住誘導域内で行う防災対策・安全確保対策を定める「防災指針」の作成を実施する。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

洪水ハザードマップに関する住民説明会

【津市】



- ・避難確保計画作成促進に係る講習会や一斉避難訓練を実施。講習会では避難確保計画作成に当たって、参加者同士でワークショップも実施し、知恵の共有を行うことで、課題等への解決策を探索。

水害リスクの空白域解消 (ため池ハザードマップ作成)

【松阪市】



- ・防災重点農業用ため池を有する自治会に、ため池堤体の崩壊による浸水区域を示したハザードマップを配布